

## (補足資料) 平成31年度 昼間課程 美容師養成科 シラバス

課目		標準授業時間数(単位数)	担当教員	実務経験
必須 課目	関係法規・制度	30(1)	犬飼 繁	美容師養成施設指定規則 別表第三の三に該当 公立高校で長年勤務経験あり
	衛生管理	90(3)	周藤 由美	美容師養成施設指定規則 別表第三の七に該当 看護師経験及び専門学校での専任教員経験あり
	保健	90(3)		
	香粧品化学	60(2)	横田 直子	美容師養成施設指定規則 別表第三の五に該当 高等学校で長年非常勤講師の経験あり
	文化論	60(2)	高橋 昌人	美容師養成施設指定規則 別表第三の二に該当 絵画教室の経営、及び文化講座での講師経験あり
	美容技術理論	150(5)	神崎 千恵子 頼正 加奈子	美容師養成施設指定規則 別表第三に該当 美容室で長年勤務経験あり
	運営管理	30(1)	犬飼 繁	美容師養成施設指定規則 別表第三の三に該当 公立高校で長年勤務経験あり
	美容実習	900(30)	頼正 加奈子 神崎 千恵子	美容師養成施設指定規則 別表第三に該当 美容室で長年勤務経験あり
合計	1410(47)			

シラバス(美容科・~~ビューティ~~ 専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	犬飼 繁
美容科2年生	必修科目	1単位(30)	授業形態	講義式
課目名	関係法規・制度		単年／継続	単年
授業達成目標 及び テーマ	美容師の業務に関する諸法規・制度についての正しい知識を学習する。 さらに美容所の開設等の規則や違反者に対する行政処分や罰則、そして関連法規についても学習する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	P8～33	法制度、衛生行政に関してその概要を学習する。	
	5	P33～51	保健所の役割と機構、美容師法の目的と用語の定義を学習する。	
	6	P52～76	美容師試験、免許と登録について学習する。	
	7	P76～87	美容師の義務について学習する。	
	8	P87～104	美容師の業務停止・免許取り消しおよび再免許、美容所の開設について学習する。	
	10	P104～116	開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務、立入検査と環境衛生監視員について学習する。	
	11	P117～128	違反者等に対する行政処分、罰則について学習する。	
	12	P130～138	関連法規について学習する。	
	1	P140～149	美容師法の構成、歴史について学習する。	
	2		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	3		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	テキスト	関連法規・制度(美容)		
参考書等	ワークブック・美容師法関係法令集			
評価方法	前期・後期中間考査、前期・後期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点を学習プリントの提出点及び授業態度で評価する。学年末には優・良・可・不可で評価する。なお、遅刻・早退・欠席は減算評価とする。また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者に対する補習をする。			
その他				

### 31年度 シラバス(美容科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	周藤 由美
美容科1年生	必修科目	1(30)	授業形態	講義
科目名	衛生管理		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	美容技術のエビデンスとなる公衆衛生・環境衛生・感染症の知識を習得する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	7～	1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	
	5		2章 保健	
	6			
	7	41～	2編 環境衛生	
	8			
	9		期末試験対策・解説	
	10			
	11	73～	3編 感染症 1章 感染症の総論	
	12			
	1		2章 感染症の各論	
	2		期末試験対策	
	3			
	テキスト	衛生管理		
参考書等	ワークブック、国家試験過去問題			
評価方法	前期・後期の期末考査を各素点90点満点、プリント提出・授業態度を10点満点として評価する。プリント未提出・授業妨害は減点対象とする。学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
その他				

### 31年度 シラバス(美容科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	周藤 由美
美容科2年生	必修科目	2(60)	授業形態	講義
科目名	衛生管理		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	美容技術のエビデンスとなる消毒法の知識と技術を習得する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	129～	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	
	5			
	6	148～	2章 消毒法各論 中間試験対策・解説	
	7			
	8			
	9	167～	3章 消毒法実習 期末試験対策・解説	
	10	201～	5編 衛生管理の実践例	
	11		中間試験対策	
	12		中間試験解説	
	1		国家試験対策	
	2		国家試験対策	
	3			
	テキスト	衛生管理		
参考書等	ワークブック、国家試験過去問題			
評価方法	前期・後期の中間考査・期末考査を各素点90点満点、プリント提出・授業態度を10点満点として評価する。プリント未提出・授業妨害は減点対象とする。学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
その他				

### 31年度 シラバス(美容科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	周藤 由美
美容科1年生	必修科目	3(90)	授業形態	講義
科目名	保健		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	美容技術のエビデンスとなる人体の構造及び機能の基礎的知識を習得する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5	12～	第1編 第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖 第2章 骨格器系	
	6		第3章 筋系	
	7		第4章 神経系 第5章 感覚器系	
	8			
	9		期末試験対策・解説	
	10		第6章 血液・循環器系	
	11		第7章 呼吸器系	
	12		第8章 消化器系	
	1		復習	
	2		期末試験対策	
	3			
	テキスト	保健		
参考書等	ワークブック、国家試験過去問題			
評価方法	前期・後期の期末考査を各素点90点満点、プリント提出・授業態度を10点満点として評価する。プリント未提出・授業妨害は減点対象とする。学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
その他				

### 31年度 シラバス(美容科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	周藤 由美
美容科2年生	必修科目	3(90)	授業形態	講義
科目名	保健		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	美容技術のエビデンスとなる人体の構造及び機能と皮膚とその付属器官の基礎的知識を習得する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	12～	第1編 人体の構造及び機能 第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖 第2章 骨格器系	
	5	22～	第2章 骨格器系 第3章 筋系 第4章 神経系	
	6	42～	第5章 感覚器系 第6章 血液・循環器系 中間試験対策・解説	
	7	56～	第7章 呼吸器系 第8章 消化器系	
	8			
	9	68～	第2編 皮膚科学 第1章皮膚の構造 期末試験対策・解説	
	10	78～	第2章～第3章	
	11	94～	第4章～第5章 中間試験対策	
	12	132～	第6章 中間試験解説	
	1		国家試験対策	
	2		国家試験対策	
	3			
	テキスト	保健		
参考書等	ワークブック、国家試験過去問題			
評価方法	前期・後期の中間考査・期末考査を各素点90点満点、プリント提出・授業態度を10点満点として評価する。プリント未提出・授業妨害は減点対象とする。学年末には優・良・可及び不可で評価する。成績不振者には補習をする。			
その他				

31年度 シラバス(美容科・~~ビューティ~~専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	横田 直子
美容科1年生	必修科目	2単位(60)	授業形態	講義
科目名	香粧品化学		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	香粧品の知識・管理について学習する。 香粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	p.9～30	香粧品概論	
	5	p.31～49	香粧品用原料(水性原料, 油性原料)	
	6	p.50～62	香粧品用原料(界面活性剤, 高分子化合物)	
	7	p.63～73	香粧品用原料(色材, 香料)	
	8			
	9		前期期末考査対策授業, 前期期末考査後解説	
	10	p.74～84	香粧品用原料(その他の配合成分, ネイル・まつ毛エクステンション用材料)	
	11	p.85～104	基礎香粧品	
	12	p.105～121	メイクアップ用香粧品	
	1	p.123～142	頭皮・毛髪用香粧品(シャンプー剤, スタイリング剤, パーマ剤)	
	2		後期期末考査対策授業	
	3			
テキスト	香粧品化学			
参考書等	ワークブック			
評価方法	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点90点で評価し、10点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可・不可で評価する。 考査後に成績不審者の補習を行う。			
その他				

31年度 シラバス(美容科・~~ビューティ~~ 専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	横田 直子
美容科2年生	必修科目	2単位(60)	授業形態	講義
科目名	化粧品化学		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	化粧品の知識・管理について学習する。 化粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	付録-1～12	物質の構成, 物質の構造, 溶解とコロイド, イオンと水素イオン指数	
	5		前期中間考査対策授業	
	6	付録-13, 14	物質の変化と化学反応	
	7	付録-15, 16	酸化・還元反応	
	8			
	9		前期期末考査対策授業, 前期期末考査後解説	
	10	付録-17～20	タンパク質	
	11		後期中間考査対策授業	
	12		後期中間考査後解説, 国家試験問題練習	
	1		国家試験対策授業	
	2		国家試験対策授業	
	3			
テキスト	化粧品化学			
参考書等	ワークブック			
評価方法	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点95点で評価し、5点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可・不可で評価する。 考査後に成績不審者の補習を行う。			
その他				

シラバス(美容科 ~~ビューティ~~ 専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	高橋 昌人
1年	必修課目	2(60)	授業形態	講義・実技
課目名	文化論	単年／継続	継続	
授業達成目標 及び テーマ	美容の仕事は、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識し、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、芸術的な表現力と鑑賞力を養う			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		(理容)(美容)の語義・顔を考える	
	5		化粧の意味・文化的記号としての髪の毛	
	6		美容業の発生・江戸時代の美容業	
	7		近代の美容業・現代の美容業	
	9		縄文・弥生・古墳時代・古代(飛鳥・奈良・平安時代前期)	
	10		中世(平安時代中期以降・鎌倉・室町時代)	
	11		近世前期(戦国・安土桃山・江戸時代前期)	
	12		近世後期(江戸時代中・後期)	
	1		近代(明治・大正・昭和)20年まで	
	2		現代Ⅰ(1945年～50年まで)	
	3		現代Ⅱ(1960年～70年まで)	
	テキスト	文化論		
参考書等	「顔の文化誌」「日本衣服史」			
評価方法	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点80点満点と授業態度で評価する。20点をノート点等の提出物及び授業態度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。尚、遅刻・欠席は減算評価する。また、秋休み・春休みには成績不振者の補習をする。			
その他				

シラバス(美容科・~~ビューティ~~ 専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	高橋 昌人
2年	必修課目	2(60)	授業形態	講義・実技
課目名	文化論		単年／継続	継続
授業達成目標 及び テーマ	美容の仕事は、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識し、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、芸術的な表現力と鑑賞力を養う			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		古代エジプト・古代ギリシャ・ローマ	
	5		古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	
	6		中世ヨーロッパ	
	7		近世Ⅰ(16世紀)	
	9		近世Ⅱ(17世紀)	
	10		近世Ⅲ(18世紀)近世Ⅰ(18世紀末～19世紀始め)	
	11		近世Ⅱ(19世紀)現代Ⅰ(1910～1920年代)	
	12		現代Ⅱ(1930年代)現代Ⅲ(1940～1950年代)	
	1			
	2			
	3			
	テキスト	文化論		
参考書等	「顔の文化誌」「日本衣服史」			
評価方法	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点80点満点と授業態度で評価する。20点をノート点等の提出物及び授業態度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。尚、遅刻・欠席は減算評価する。また、秋休み・春休みには成績不振者の補習をする。			
その他				

## シラバス(昼間課程)

対象者	必修/選択課目	単位数(時数)	担当者	神崎千恵子
美容科1年	必修課目	5(150)	授業形態	講義
課目名	美容技術理論	単年/継続	継続	
授業達成目標 及び テーマ	美容用具の扱い方や、技術の裏付けとなる理論を学習する。			
	月	授業概要		
	4	序章:美容技術理論を学ぶにあたって		
	5	第1章:美容用具		
	6	第2章:シャンプーイング		
	7	第2章:シャンプーイング		
	8			
	9	第3章:ヘアデザイン		
	10	第3章:ヘアデザイン		
	11	第4章:ヘアカッティング		
	12	第4章:ヘアカッティング		
	1	第5章:パーマメントウェービング		
	2	第5章:パーマメントウェービング		
	3	第5章:パーマメントウェービング		
テキスト	美容技術理論1			
参考書等				
評価方法	学期ごとに試験を行い100点満点中60点に満たないものは、補習を行う。			
その他				

## シラバス

様式の改変可

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担当者	頼正 加奈子
美容科2年	必修科目	5(150)	授業形態	講義
課目名	美容技術理論	単年／継続	継続	
授業達成目標 及び テーマ	国家試験に向けての理論対策			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	教科書Ⅰ P102～P21 8	3章パーマネントウェービング	
	5		4章パーマネントウェービング	
	6		5章ヘアセッティング	中間テスト
	7		6章ヘアカラーリング	
	8	教科書Ⅱ		
	9		エステティック・ネイル	期末テスト
	10		メイクアップ	
	11		日本髪	
	12		着付けの理論と技術	中間テスト
	1	国家試験対策		
	2	国家試験対策	期末テスト	
	3	美容技術理論Ⅰ・Ⅱの復習プリント・国家試験対策		
テキスト				
参考書等	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ			
評価方法	美容技術理論Ⅰ・Ⅱを理解させる。国家試験対策のプリントの点数を確認し、苦手なところを確認させ、合格点を取れるように持っていく。			
その他				

## シラバス(美容科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	犬飼 繁
美容科2年生	必修科目	1単位(30)	授業形態	講義式
課目名	運営管理		単年／継続	単年
授業達成目標 及び テーマ	<p>経営とは何か、経営とは何を目的に、どのようなことを行っていくかといった、経営の基礎を理解する。人を雇ううえで経営者が考えていることを学ぶと共に、従業員として働いていくうえで求められることについて理解する。</p> <p>顧客が喜んでくれるサービスはどのように創られ、提供されるのか。その背景にある考え方を理解し、よいサービスの実現に貢献するための知識や方法を学ぶ。</p>			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	P12～19	経営とは・経営者とは、継続が難しい理由、経営とは何か、経営資源と経営計画	
	5	P20～33	経営戦略が目指すもの、美容業の経営、競争の変化、美容業の顧客、資金管理の重要性	
	6	P34～49	収支と損益、会計の考え方、コストの管理、税金、人という資源、人の能力を高める	
	7	P50～57	給与、待遇・福利厚生、労働者の権利、健康管理の基礎	
	8			
	9	P58～65	美容の仕事と健康、美容業に特徴的な健康課題、社会人としての責任、美容業の従業員としての責任	
	10	P66～87	社会保険(年金)、社会保険(医療保険)、社会保険(労働保険)、キャリアプランの重要性	
	11	P88～95	顧客満足実現のためのシステム、最も重要な価値:人、価値の多様性、サービスの範囲	
	12	P96～105	美容業のマーケティング、マーケティング・ミックス	
	1	P106～119	マーケティング・ミックスの要因、サービスのシステム化、接客についての理解、接客の実践	
	2	P120～131	接客の実践、トラブルと対応、接客で発生が予想される問題・対策・対応	
	3			
テキスト	運営管理			
参考書等				
評価方法	<p>前期・後期中間考査、前期・後期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点を学習プリントの提出点及び授業態度で評価する。学年末には優・良・可・不可で評価する。なお、遅刻・早退・欠席は減算評価とする。また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者に対する補習をする。</p>			
その他				

## シラバス(昼間課程)

対象者	必修/選択科目	単位数(時数)	担当者	頼正 加奈子
美容科1年	必修科目	30(900)	授業形態	実習
科目名	美容実習	単年/継続	継続	
授業達成目標 及び テーマ	CUT・・・ポリカ検定3級、2級合格 WIN・・・全頭のバランス、面、毛幅の完成度を高めながら20分までタイムを縮める PIN・・・オールウェーブ30分までタイム縮める			
	月	授業概要		
	4	CUT・・・開閉、ポリカペーパー切り WIN・・・ブロッキング、上巻き、下巻き		
	5	CUT・・・ポリカペーパー切り、ウィッグでワンレングス WIN・・・センター～バックサイド		
	6	CUT・・・ワンレングス WIN・・・ブロッキング5分、全頭40分に縮める		
	7	CUT・・・ワンレングス WIN・・・ブロッキング5分、全頭40分でコンテスト		
	8			
	9	CUT・・・グラデーション WIN・・・ブロッキング3分、全頭35分		
	10	CUT・・・グラデーション WIN・・・ブロッキング込み35分		
	11	CUT・・・グラデーション WIN・・・ブロッキング込み30分		
	12	CUT・・・グラデーション WIN・・・ブロッキング込み30分		
	1	CUT・・・レイヤー WIN・・・ブロッキング込み25分		
	2	CUT・・・レイヤー WIN・・・ブロッキング込み25分		
	3	CUT・・・レイヤー WIN・・・ブロッキング込み20分		
テキスト				
参考書等				
評価方法	学期ごとに試験を行い100点満点中60点に満たないものは、補習を行う。			
その他				

シラバス(美容科・ビューティ 専科)

対象者	必修課目／選択必修課目	単位数(時数)	担任	神崎 千恵子
美容科2年	必修科目	30(900)	授業形態	実習
課目名	美容実習	単年／継続	継続	
授業達成目標 及び テーマ	美容技術を行う場合に必要な基本動作はもちろんのこと、美容器具の操作方法や消毒、手入れ方法などを実践する。また、特殊技術を適切に組み合わせ、調和のとれた美容技術を完成させる為、総合的な技術を身に付ける			
授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		各技術のタイムアップ。 WIN(23分)、国家試験カット見直し(40分)、PINオールウエーブデモ	
	5		各技術のタイムアップ。 WIN(21分)、国家試験カット見直し(40分)、PINオールウエーブ練習	
	6		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習	
	7		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カットタイムアップ用切り方デモ、PINオールウエーブ練習	
	9		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(30分)、PINオールウエーブ練習(50分)	
	10		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(28分)、PINオールウエーブ練習(40分)	
	11		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(25分)、PINオールウエーブ練習(30分)	
	12		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(20分)、PINオールウエーブ練習(25分)	
	1		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(18分)、PINオールウエーブ練習(23分)	
	2		各技術のタイムアップ。 WIN(20分)、国家試験カット(18分)、PINオールウエーブ練習(23分)	
	3			
	テキスト	美容用技術理論・美容実習		
参考書等	美容雑誌などから抜粋して			
評価方法	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度、欠席遅刻により点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対象の補習をする。			
その他				